

平成31年度事業報告

平成31年4月1日から令和2年3月31日まで

特定非営利活動法人 地域情報モラルネットワーク

1. 事業の成果

平成31年度は、情報化社会の発展を図る活動6件である。その詳細は、2項に記載する。これらの6件の事業は特定非営利活動に係る事業で、その他の事業はありません。

2. 事業名（定款に記載した事業）：情報化社会の発展を図る活動

(1) 具体的な事業内容：「neuis 学習会」

実施日：令和元年8月31日（土）13時30分から16時40分

会場：仙台市市民活動サポートセンター 研修室1

宮城県仙台市青葉区一番町4丁目1-3

主催：特定非営利活動法人地域情報モラルネットワーク

「Web ページの概要と作成」

話題提供者：福井恵子 氏

概要1：htmlを書き、ブラウザではどうみえるか確認しました。Web ページを作成するにはいろいろな方法がありますが、皆さんが見ているNEUISのWeb ページは、どのようにして作成されているかを分かりやすく説明しました。

受講者：10名 モラルネットワーク会員

「個人情報の漏洩問題とその対策」

話題提供者：小松澤美喜夫氏

概要2：セキュリティアクション2つ星を申請するにあたり、モラルネットワーク会員の情報セキュリティに関する意識改革が必要となります。そのはじめとして「個人情報漏洩の問題とその対策」を解説しました。

受講者：10名 モラルネットワーク会員（NPO 法人地域情報モラルネットワーク会員）

概要1,2とも資料として、[第3版]情報社会のデジタルメディアとリテラシー — 情報倫理を学ぶ — を利用しました。

概要1では、受講者が実際に持参したPCで実習を行いました。

(2) 具体的な事業名：高校生のスマホの利用法

実施日：令和元年9月14日（土）13：00～14：10

会場：仙台城南高等学校 視聴覚室

概要：スマホの活用は種々あると思います。今回、仙台城南高校の生徒が実際にどのように活用しているか事例を上げながら、参加者のみなさんと一緒に活用方法を学びました。

参加者：15名程度（うち2名がモラルネットワーク役員からの参加）

(3) 具体的な事業名：「インターネット安全教室 講師トレーニング 仙台」

実施日：令和元年9月15日（日）13：30～15：00

会場：東北工業大学一番町ロビー2階

（〒980-0811 宮城県仙台市青葉区1-3-1 TMビル）

主催：独立行政法人情報処理推進機構（IPA）・経済産業省商務情報政策局
サイバーセキュリティ課・（株）教育ネット

共催：NPO 法人地域情報モラルネットワーク

受講者：35名程度

受講対象者：「インターネット安全教室」の講師をされる方

地域で情報セキュリティ普及啓発に関わる方

パソコン教室等で講師として活動中の方や講師を目指したい方

概要：受講者に、講師としての知識・テクニックを習得していただくためのトレーニングを行った。

(4) 具体的な事業名：「インターネット安全教室」

実施日：令和元年12月7日（土）14：00～16：10

会場：東北工業大学一番町ロビー2階

（〒980-0811 宮城県仙台市青葉区1-3-1 TMビル）

主催：特定非営利活動法人地域情報モラルネットワーク

共催：IPA・経済産業省 商務情報政策局サイバーセキュリティ課・東北工業大学工学
部情報通信工学科 角田研究室

後援：宮城県警察本部

従業者の数：3名（neuis から）宮城県警察本部2名

受益対象者の範囲および人数：仙台市民、宮城県民 37名

【主催者の所感（運営・要望）】参加者の総勢は37名で、そのうち16名は学生、一般、モ

ラルネットワーク会員 21 名となる。アンケート結果からも、分かるように、ほとんどの方は理解し、満足していただけた。全体に、内容は高度であったが、とても分かりやすい解説で、学生さんの事前の準備が行き届いていた。デモは、とても高度で、実際に SNS の書き込みから本人までのたどりつく方法、暗号化されていない Wi-Fi に接続した PC の内容が盗みとられる仕組みなど、とても説得力があった。警察からのお話は、前の話とだぶらないように工夫され、とても有意義なインターネット安全教室となった。

**(5) 具体的な事業名：ホームユーズ向けインターネット安全教室
「インターネットとの正しい付き合い方 ～SNS やメールの正しい利用法～」**

実施日：令和 2 年 1 月 25 日（土） 10：00～11：05

会場：宮城県登米市立佐沼中学校

（宮城県登米市迫町佐沼字沼向 4）

主催：IPA・経済産業省 商務情報政策局サイバーセキュリティ課
登米市立佐沼中学校

共催：特定非営利活動法人地域情報モラルネットワーク

参加者 約 135 名（内訳 中学生 110 名 保護者、教職員ほか 25 名程度）

概要：今回は、モラルネットワーク理事長小島正美が講師として行った。旅費を含めて報酬なし。無報酬のボランティアのため、モラルネットワークは共催として記載した。IPA 試行版の教材テキストに、できるだけ忠実に行うようにした。その点の課題は、別途記載するとして、スライドの内容と時間配分に苦慮した。試行版は、小学校 4 年生から高校生まで対応できるものようですが、今回、使用したスライドは小中向けで、ぴったりではないかと思った。当日は、SNS のビデオ教材で、「えいこさんの目的は？」というところで、マニュアル化されたスライドにあわせてグループでの話し合いを 5 分程度とり、二つのグループから発表していただいた。いずれのグループからも、「ストレス解消として利用した」という回答だった。グループ討議は、上手に利用すると、有効であることを確認した。終わってから、たくさんの質問をいただいたが、同じような質問内容で、基本的な質問が多かった。とても勉強になった 1 日でした。主催、共催は、これまでの慣例に従って記載した。

(6) 具体的な事業名：NPO 法人地域情報モラルネットワーク 10 周年記念講演

AI 研究の今後の課題

**講師：野口正一先生（公益財団法人仙台応用情報学研究振興財団理事長
東北大学名誉教授）**

実施日：令和 2 年 2 月 15 日（土） 16：00～17：00

実施場所：N-oval ビル 1 階 フリースペース

（〒980-0012 仙台市青葉区錦町 1 丁目 5 番 1 号）

主催：特定非営利活動法人地域情報モラルネットワーク

参加者：35名

概要:これまでの身近なニュース、AI (人工知能) がプロ棋士に勝利したなどがありますが、AIはいつも新たな社会の到来を予感させていて、身近なところの話題から、AIが万能のように思いがちですが、高度なAIの実現には、まだまだ多くの課題があり、そのなかで、感性情報の処理、量子コンピュータについては数式を使い、基礎からお話しいただきました。研究者向けのお話も含まれていて、豊富な内容で、とても勉強になった1日となりました。

以上